

新連載  
始まりました！

# キラリ看護部



今月号より、看護部の連載が始まりました！このタイトルは看護師ならだれも知っている、川島みどり先生の本「キラリ看護」を参考にさせていただきました。よろしく願います。

Vol.1  
そもそも  
看護師って？

看護部長 田中 弓子  
たなか ゆみこ

小・中・高校生女子に人気の職業「看護師」ですが、看護師として働くためには国家試験、准看護師は都道府県の試験を受けて合格し、免許を取得しなければなりません。そして、私たち看護師は「保健師助産師看護師法」通称、保助看法（ほじょかんぽつ）において、「診療の補助」と「療



養上の世話」をすることが定められています。

少し固いお話になりましたが、「診療の補助」は皆さんよくご存知の、医師の診察の介助のことです。外来や入院診療でも医師がスムーズに診察できるように、問診をとったり、注射や処置の介助をします。ただそれだけでは



なく、事前の検査や処置に必要な準備、患者さんの状態把握や説明、まわりの患者さん、ご家族にも配慮しつつ、記録と片付けも含め、優先順位を考えながら業務をしています。しかしながら、医師からの指示待ちではなく、自ら考えて行動できる自立した看護師を目指しています。



次に、「療養上の世話」は食事、排泄介助、体位変換など少しでも苦痛なく過ごしていただけるように支援することです。

ただ支援するだけではなく、一番近くで患者さんを見てくれる看護師だからこそできる、患者さんの「いつもと違う」に気づける感性を大事にしたいと思っています。急な入院、手術やお産な



ど予定通りにいかないことが「私たち看護師のお仕事！」このような看護の場でも邑智病院の看護師は、今年度の目標でもある「人間力の向上」を目指して、キラリ輝いて看護をしていきたいと思えます。今後ともどうか温かく見守っていただき、またご指導いただければと思います。よろしく願います。

